

2 同居者票

生活状況に関する調査（同居されている方用）

このたびはお忙しい中、アンケートにご協力いただき誠にありがとうございます。

「生活状況に関する調査」は、**大阪市内の満 15 歳から 64 歳(2019 年 12 月 31 日時点)の方(ご本人様) 10,000 人及び、ご本人様と同居されている方を対象に、2019 年の 1 年間の、ご本人様の日常生活の状況などについてお伺いするもので、調査結果は大阪市の今後の施策運営などの基礎資料とさせていただきます。**

皆さまのご意見は、調査対象者が特定されないように、全体を集計します。また、**回答内容や個人情報が入記目的以外に使用されたり、外部に漏れることはありません。**

質問数が多く、記入時間も長くなると思いますが、以下の「記入上のお願ひ」をお読みいただき、**全部の質問にご回答くださいますよう**、お願ひ申し上げます（ご本人様が回答されない場合も、同居されている方用アンケートにご回答ください）。

【記入上のお願ひ】

- 1) この調査票にはご本人様（封筒の宛先の方）と**同居されている方(親・配偶者・子など)**が、ご記入をお願いいたします（ご本人様用を提出されない場合も、ご記入をお願いします）。
- 2) ご記入は、質問の番号や矢印（→）の指示にそってお願いします。
- 3) ご記入は鉛筆または黒・青のペン、ボールペンをお願いします。
- 4) 回答に迷う場合は、あなたの気持ち、考えにできるだけ近いものを選ぶようにしてください。

【回収方法について】

ご記入いただきました調査票は 1 月 18 日までに、同封の返信用封筒に入れてお送りください（切手は不要です。差出人の住所・氏名等は記入しないでください）。

令和 2 年 12 月 24 日

【調査実施機関】大阪市こころの健康センター

大阪市都島区中野町 5-15-21 都島センタービル 3 階

電話：06-6922-8520

受付時間：月～金曜日 9:00～17:30（祝日、年末年始を除く）

【同居されている方用】

アンケート調査票

※ ここでいう「本人」とは、宛名の方です。質問文に「ご本人」とあるものは宛名の方のことについて、お答えください。

Q1 ご本人の性別をお答えください。（○はひとつだけ）

1 男性	2 女性	3 その他・答えたくない
------	------	--------------

Q2 ご本人がお住まいの区はどちらですか。（○はひとつだけ）

1 北区	6 西区	11 西淀川区	16 旭区	21 住吉区
2 都島区	7 港区	12 淀川区	17 城東区	22 東住吉区
3 福島区	8 大正区	13 東淀川区	18 鶴見区	23 平野区
4 此花区	9 天王寺区	14 東成区	19 阿倍野区	24 西成区
5 中央区	10 浪速区	15 生野区	20 住之江区	

Q3 2019年12月31日時点のご本人の年齢をお答えください。（○はひとつだけ）

1 15～19 歳	5 35～39 歳	9 55～59 歳
2 20～24 歳	6 40～44 歳	10 60～64 歳
3 25～29 歳	7 45～49 歳	
4 30～34 歳	8 50～54 歳	

Q4 2019年12月31日時点でご本人と同居していた方について、ご本人から見て該当するものに○をつけてください。（○はいくつでも）

1 父	5 弟	9 配偶者
2 母	6 妹	10 子
3 兄	7 祖父	11 その他の人（ ）
4 姉	8 祖母	12 同居家族はいない

Q5 2019年12月31日時点で同居していた人は合計で何人ですか。ご本人も含めた人数を記入してください。（数字で具体的に）

（ ）人

Q6 2019年12月31日時点でご本人は在学中でしたか。（○はひとつだけ）

1 在学していた	3 中退した
2 すでに卒業していた	4 休学中であった

Q7 ご本人が最後に卒業(中退を含む)した、または2019年12月31日時点で在学していた学校はどれですか。（○はひとつだけ）

1 中学校	3 専門学校
2 高等学校	4 高等専門学校・短期大学
ア 全日制 イ 定時制	5 大学・大学院
ウ 通信制・サポート校	6 その他（ ）

【同居されている方用】

Q8 ご本人の2019年の就労・就学等の状況についてお答えください。（2019年の1年間で最も長期間あてはまるものにひとつだけ○）

- 1 正社員として働いていた
- 2 契約社員として働いていた
- 3 派遣社員として働いていた
- 4 パート・アルバイト（学生のアルバイトは除く）として働いていた
- 5 自分で店、会社を経営していた
- 6 自由業（個人で専門知識や技術を生かした職業）をしていた
- 7 その他の仕事（ ）
- 8 派遣会社などに登録しているが、働いていなかった
- 9 無職
- 10 専業主婦・主夫
- 11 学生
- 12 家事手伝いをしている
- 13 浪人として予備校などに通っている
- 14 その他（ ）

Q9 ご本人は、2019年の1年間、ふだん、どのくらい外出していましたか。
（最も当てはまるものにひとつだけ○）

- 1 仕事や学校で平日は毎日外出する
- 2 仕事や学校で週に3～4日外出する
- 3 遊び等で頻繁に外出する
- 4 人づきあいのためにときどき外出する

Q20 へ（5ページ）

- 5 ふだんは家にいるが、自分の趣味に関する用事のときだけ外出する
- 6 ふだんは家にいるが、近所のコンビニなどには出かける
- 7 自室からは出るが、家からは出ない
- 8 自室からほとんど出ない

Q10～13 へ

Q10 そのような状態になったのは、ご本人が何歳の頃ですか。（数字で具体的に）

（ ）歳

Q11 ご本人がそのような状態になってどのくらい経っていましたか。（○はひとつだけ）

- | | |
|--------------|---------------|
| 1 6か月未満 | 6 7年以上～10年未満 |
| 2 6か月以上～1年未満 | 7 10年以上～20年未満 |
| 3 1年以上～3年未満 | 8 20年以上～30年未満 |
| 4 3年以上～5年未満 | 9 30年以上 |
| 5 5年以上～7年未満 | |

【同居されている方用】

Q12 ご本人がそのような状態になったきっかけは何ですか。（○はいくつでも）

1 不登校 ア 小学校 イ 中学校 ウ 高校	6 人間関係がうまくいかなかった ア 友人 イ 父 ウ 母 エ きょうだい オ その他の人（ ）
2 大学（短大・専門学校等を含む）に なじめなかった	7 病気（病名： ）
3 受験に失敗した ア 中学 イ 高校 ウ 大学	8 妊娠した
4 就職活動がうまくいかなかった	9 介護・看護を担うことになった
5 職場になじめなかった	10 定年（早期）退職した
	11 その他（ ）

Q13 そのような状態について、ご本人は相談機関・関係機関に相談されたことがありますか。
（○はひとつだけ）

1 はい	2 いいえ
------	-------

Q14-16 へ

Q16 へ
(4 ページ)

Q14 ご本人はどのような機関に相談されましたか。相談されたことのある機関に○をつけてください。（○はいくつでも）

1 大阪市こころの健康センター （ひきこもり地域支援センター）	9 学校・スクールカウンセラー
2 各区保健福祉センター	10 エルムおおさか （発達障がい者支援センター）
3 各区自立相談支援窓口	11 病院・診療所
4 社会福祉協議会	12 民間施設 （当事者・家族の会、フリースクールなど）
5 地域若者サポートステーション （コネクションズおおさか・ OSAKAしごとフィールドなど）	13 民生委員・主任児童委員
6 ハローワークなどの就労支援機関	14 警察
7 こども相談センター	15 その他の施設・機関 （具体的に ）
8 教育センター	

Q15 ご本人が相談機関・関係機関に相談された結果について、同居されている方はどのようにお考え
ですか。ご自由にお書きください。

【同居されている方用】

Q16 そのような状態について、ご本人と同居されている方は相談機関・関係機関に相談したことがありますか。（〇はいくつでも）

1	はい	2	いいえ（その理由）	
		ア	相談機関が近くにない	イ 相談機関を知らない
		ウ	相談したい機関がない	エ お金がかかる
		オ	その他（	）

Q17-19 へ

Q19へ

Q17 どのような機関に相談されましたか。相談されたことのある機関に○をつけてください。
(○はいくつでも)

1 大阪市こころの健康センター (ひきこもり地域支援センター)	9 学校・スクールカウンセラー
2 各区保健福祉センター	10 エルムおおさか (発達障がい者支援センター)
3 各区自立相談支援窓口	11 病院・診療所
4 社会福祉協議会	12 民間施設 (当事者・家族の会、フリースクールなど)
5 地域若者サポートステーション (コネクションズおおさか・ OSAKAしごとフィールドなど)	13 警察
6 ハローワークなどの就労支援機関	14 その他の施設・機関 (具体的に)
7 こども相談センター	
8 教育センター	

Q18 相談機関・関係機関に相談された結果について、どのようにお考えですか。ご自由にお書きください。

[illegible]

Q19 ご本人に関して、そのような状態や将来のことについて不安に思うことはありましたか。ご自由にお書きください。

【同居されている方用】

Q9（2ページ）で、1～4に○をつけた方のみ、Q20をお答えください。それ以外の方は、Q25（6ページ）に進んでください。

Q20 ご本人は2019年より前に6か月以上連続して、以下のような状態になったことはありますか。（○はひとつだけ）

1 ふだんは家にいるが、自分の趣味に関する用事の時だけ外出する 2 ふだんは家にいるが、近所のコンビニなどには出かける 3 自室からは出るが、家からは出ない 4 自室からほとんど出ない	5 1～4のような状態に6か月以上連続してなったことはない
---	-------------------------------

↓

Q25 へ（6ページ）

↓

Q21～24 へ

Q21 そのような状態になったのは、ご本人が何歳の頃ですか。（数字で具体的に）

（ ）歳

Q22 そのような状態はどのくらい続けましたか。（○はひとつだけ）

1 6か月未満	6 7年以上～10年未満
2 6か月以上～1年未満	7 10年以上～20年未満
3 1年以上～3年未満	8 20年以上～30年未満
4 3年以上～5年未満	9 30年以上
5 5年以上～7年未満	

Q23 そのような状態になったきっかけは何ですか。（○はいくつでも）

1 不登校 ア 小学校 イ 中学校 ウ 高校	6 人間関係がうまくいかなかった ア 友人 イ 父 ウ 母
2 大学（短大・専門学校等を含む）になじめなかった	エ きょうだい オ その他の人（ ）
3 受験に失敗した ア 中学校 イ 高校 ウ 大学	7 病気（病名： ）
4 就職活動がうまくいかなかった	8 妊娠した
5 職場になじめなかった	9 介護・看護を担うことになった
	10 定年（早期）退職した
	11 その他（ ）

【同居されている方用】

Q24 そのような状態からQ9（2ページ）で回答した状態（2019年の状態）になったきっかけや役立ったことは何だと思われますか。ご自由にお書きください。

【Q25～Q26 はすべての方がお答えください。】

Q25 ご本人と同居されている方は、次の機関や事業（別紙参照）を知っていますか。知っている項目に○をつけてください。（○はいくつでも）

1 大阪市こころの健康センター （ひきこもり地域支援センター）	7 こども相談センター
2 各区保健福祉センター	8 教育センター
3 各区自立相談支援窓口	9 学校・スクールカウンセラー
4 社会福祉協議会	10 エルムおおさか（発達障がい者支援センター）
5 地域若者サポートステーション （コネクションズおおさか・ OSAKAしごとフィールドなど）	11 民生委員・主任児童委員
6 ハローワークなどの就労支援機関	12 知っている機関は無い

Q26 大阪市では、身体の病気以外の理由でふだん外出ができない方たちへの支援のあり方を検討しています。こうした支援について、必要だと思うものに○をつけてください。（○はいくつでも）

1 相談窓口の周知	4 本人への支援
2 相談窓口の充実	5 家族等への支援
3 ひきこもりに関する正しい知識の普及	6 支援者への研修

その他必要な支援等について、ご意見があれば、自由にお書きください。

質問は以上で終了です。ご協力いただきまして、誠にありがとうございました。

